

2022 年 番組審議会議事録

1. 開催日時 2022 年 1 月 23 日 13:00~14:30

2. 開催場所 ラジオ川越スタジオ

3. 番組審議委員

A studio 新井大介
高校生 大谷海斗
新富町商店会 理事 早川正信
作家 野村路子
水澤経営労務管理事務所 代表 水澤良昭
*欠席 氷川神社 山田禎久

4. 放送事業者

代表取締役 間中繁孝
取締役 間中伸也
執行役員 間中凜
局長代理 加藤恵子
番組運営委員 武井雅弘
番組運営委員 小林範子

オブザーバー 興隆コンサル 工藤隆興

5. 議事内容

■代表取締役社長 間中繁孝代表挨拶

日経新聞に大きく2面取り上げられた。今の川越は大宮、浦和と比較されることが多い。35万人の人口があるが、FM局を作る人いないので、FM局を立ち上げた。2009年のNHKテレビ小説「つばさ」の中に登場するコミュニティ放送局ラジオぽてとに影響を受け、川越及び周辺の町をカバーするラジオ局をやることを使命と感じて立ち上げに奔走し、ようやく開局にこぎつけた。

■各委員より自己紹介

■ラジオ川越について紹介

■番組についての自由意見

・新河岸で町おこし、パーソナリティーのもんやさんと協力、ゲスト出演して地元の宣伝としてありがたかった。パーソナリティーのはなまるさんカメラを通じて初めてラジオ川越を知り、パーソナリティーのASUKAさんと、発光さん、のらくらさんとも密に連携を取っている。

・10月から番組が変わったと感じた。ラジオ川越、NHKラジオとTBSラジオと交互に聞いている。TBSと比べるとそんなに遜色を感じなかった。ラジオ川越のタイムリーの放送、カバー地域川越、鶴ヶ島、坂戸あたりの電波が不安定を感じた。

・川越ますみさん、ゆき乃さん、小林さんの番組にゲスト出演、全国で聞けるとは思わなかった。またリスナーを通して全国からの反響にびっくりした。Nack 5が出来てから、NHK、浦和より人気が出た、その理由は浦和レッズの放送、Nack 5のシールがステータス、川越のスポーツチームや、箱根駅伝との関わりで人気が出るかもしれない。

・まだ認知度がちょっと低いような気がする。川越以外自分の学校でも広めている。勉強系（英語など）の番組がほしい、ラジオを聞く習慣が定着すると思う、車でNack 5を聞いてた、担任の先生が興味を示してくれた。

・Nack 5の音楽を聞いていた。川越市政100周年の番組に興味があった。中学生の番組があったらよいのでは。

・100周年の話について、市長に1時間インタビューをした、市役所広報と連携として情報を流す、市民、観光協会、学生、まちづくりと提携して番組で放送。

・水上公園の新しい公園を報道してほしい

間中社長：丸広が建て替えの時に一番街が一気に衰退した。マンションが次から次へと建っている、2年後アンテナを移転しないといけない。川越はポテンシャルのある町なので、ラジオ川越がそれを宣伝して行って欲しい。

■次回の番組審議委員の日程

4月17日 13:00 - 14:00